卒業論文

「人を創る」シェアハウスとその地域再生機能
―俵山ビレッジの参与観察から―

2019 年度入学
九州大学　文学部　人文学科　人間科学コース
社会学・地域福祉社会学専門分野
1LT19032T 向井大晟
2022 年 12 月提出

要約

本研究では、シェアハウスという空間が住む人に何をもたらすのか、そして地域貢献型のシェアハウスの実態とその可能性について探っていく。

第 1 章では本研究の目的を述べている。シェアハウスのブーム化とともに、経済的な動機以外にも様々な動機でシェアハウスに住むという選択をする人が増えており、シェアハウスの形も多様化している。その中でも、地域創生や地域再生というミッションを掲げ、住民が地域で生活しながら地域社会と深く関わる地域貢献型のシェアハウスに注目した。実際にそのような取り組みを行っているシェアハウスで生活をさせていただき、シェアハウス内部での営みと地域のかかわりについて調査した。

第 2 章では、社会学的な観点から見たシェアハウス、シェアの大きな流れ、のちに考察で用いるコモンズ概念、地域再生についての先行研究を整理する。シェアハウスという存在が新たな家族観の在り方や自己の自立の機会となる可能性を示唆していること、シェアの大きな流れは非貨幣的で互酬的な信頼関係を求める現代の人々の傾向によって形作られていること、現代における新たなコモンズの在り方の提案、地域再生における外部人材の役割などを確認している。

第 3 章では、本研究の調査概要を記載している。今回調査地とした山口県長門市俵山地区の概要やその地域でシェアハウスの運営や地域に携わるプロジェクトを複数行っている「俵山ビレッジ」というコミュニティの概要、そして調査方法について簡単に記載した。また、本調査ではシェアハウス住人と地域住民の双方に聞き取り調査を行っており、聞き取り調査対象者の情報も明示する。

第 4 章では聞き取り調査や参与観察をもとに、分析を行う。まずは、シェアハウスでの生活の様子や住人がシェアハウスに住むことによって何を得られるのかなど、シェアハウス内部での営みについて分析を行う。次に、シェアハウス住人と地域住民の関わり合いについて、双方の視点を分けて聞き取り調査から分析を行う。両者に別々に聞き取りを行い双方の視点を取り入れたため、より説得力のある分析が可能になった。

第 5 章では調査分析を踏まえて、大きく分けて 4 つの考察を行う。シェアハウスでの生活は、他人を理解しようとする動きの中で、より自己と向き合うことのできる場であった。また、シェアハウスが「現代のコモンズ」として機能する可能性、地域社会を若者の自己実現の場として捉えなおすことの必要性、シェアハウスとの関わりによって地域に何がもたらされるかということを検討している。

第 6 章は、本研究の結びとして、本論文で述べてきたことを再確認する。シェアハウスが住む人にもたらす効果、地域貢献型のシェアハウスが地域社会にもたらすもの、俵山ビレッジの特異性などについてまとめる。

キーワード：シェアハウス、地域再生、自己と他者、コモンズ

目次

はじめに.....1

1　研究目的.....2

2　先行研究.....3

2.1.　シェアハウス.....3

2.1.1. シェアハウスの概要.....3

2.1.2 新たな家族観の表出としてのシェアハウス.....3

2.1.3 自律の機会としてのシェアハウス.....4

2.1.4　コンセプト型シェアハウス.....5

2.2　シェアとコモンズ.....6

2.2.1　シェアリングエコノミーの概要と基本的特質.....6

2.2.2　コモンズ論の系譜.....9

2.2.4　コモンズの定義.....11

2.2.4　コモンズ型シェアライフ.....12

2.3 地域再生.....13

2.3.1 農村をめぐるビジョン.....13

2.3.2 外部人材と地域社会の関わり.....14

2.3.3 若者世代の「田園回帰」.....16

3. 調査概要.....18

3.1.　俵山ビレッジの概要.....18

3.2 俵山地区の概要.....18

3.3 調査方法.....22

3.4 調査対象者について.....22

Column 灯炬庵.....22

4. 調査分析.....25

4.1 シェアハウス住人の視点.....25

4.1.1 俵山に移住したきっかけ.....25

4.1.2 家のシェアを通じた「他者」との関わり 27
4.1.3 自己実現と地域貢献.....29
4.1.4 地域住民との関わり.....31
4.2 地域住民の視点 35
4.2.1 シェアハウス住人との関わり 36
4.2.2 地域住民の思い.....38
4.2.3 地域の変化.....39
5. 考察.....41
5.1 他者を通じた自己理解・自己形成.....41
5.2 シェアハウスを中心とした「現代のコモンズ」創出の可能性.....43
5.3 自己実現の場としての地域社会 46
5.4 シェアハウスと地域の出会い.....47
6. 結論.....50
参考文献.....52
謝辞.....54